

## 時 間

－時間を大切にして、よい生活習慣をつくろうとする態度を育てる－

- 1 学 年 第9学年〔後期〕
- 2 主題名 望ましい生活習慣〔1－(1)〕
- 3 ねらい

受験を理由に、ロードレース大会や朝の犬の散歩から逃げようとしていた「僕」が、それらに前向きに取り組む生活を送ることで、毎日が充実することに気付いていく姿を通して、よりよい生活習慣に対する態度を育てる。

- 4 資料名 「時間」
- 5 展 開

|        | 学習活動と主な発問                                                                                                                                                                                                             | 生徒の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 指導上の留意点                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導<br>入 | 1 朝の犬の散歩について考える。<br>○ 朝の犬の散歩を頼まれたらどうしますか。                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受験生にそんな時間はない。</li> <li>・ 面倒だから断る。</li> </ul> 気分転換になるからやってもいい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ○ 「受験生だから」という意見を共感的に受け止めさせる。                                                                                                                                                                                             |
| 展<br>開 | 2 資料「時間」を読んで話し合う。<br>○ 「僕」は学活で先生からロードレースについて話を聞いたときどんな気持ちだったのでしょうか。<br>○ 「孝史」の後ろ姿を見かけた「僕」が「孝史」に話しかけることができなかったのはなぜでしょう。<br>◎ ロードレースで走りながら「僕」のあせりが消えていったのはなぜでしょう。<br>3 自分達の生活を振り返って話し合う。<br>○ 大切にしたい生活習慣は何ですか。それはなぜですか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重い気持ち。</li> <li>・ そんな時間はないはないよ。なんでこんな時に行事をするんだ。</li> <li>・ 先生だって勉強しろって、いつも言っているじゃないか。</li> <li>・ 冗談じゃない。これで計画はぶち壊した。</li> <li>・ 放課後の練習をさぼった後ろめたさから。</li> <li>・ 結局、何もしないでぶらぶらしているだけの自分が情けなくなったから。</li> <li>・ 朝の散歩を再開して、すっきり起きられるようになった。</li> <li>・ 時間がない中、がんばる「孝史」の姿から、本当に大切なことに気付かされたから。</li> <li>・ ロードレース等やるべきことから逃げない前向きな気持ちを取り戻したから。</li> <li>・ 寝る時間や起きる時間をきちんと決めていると自然と体にリズムができる。</li> <li>・ テレビの時間をきちんと決めておくと学習時間が確保できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あせる受験生の「僕」の重い気持ちにしっかり共感させる。</li> <li>○ 時間があることより時間が有効に使えないことがあせりにつながることに気付かせる。</li> <li>○ やるべきことから逃げずに取り組むことが充実した生活の実現につながることに気付かせる。</li> <li>○ 「心のノート」(P. 21)を活用する。</li> </ul> |
| 終<br>末 | 4 教師の説話を聞く。                                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よい生活習慣を身に付けることは大切なんだなあ。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ○ 生活習慣を大切にして成功した生徒や教師自身の事例を紹介する。                                                                                                                                                                                         |

## 6 授業の概要

### (1) 主題について

内容項目〔1－(1)〕は、「望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする」をねらいとしている。

勉強に集中することを理由に、辛いことから逃げたり自分を甘やかしたりすることで、かえって生活習慣が乱れ、だらだらとした時間を過ごしてしまうことはありがちなことである。一方、忙しくしている時ほど、時間を有効に使えていると実感することもよくあることである。本資料の「僕」の姿を通して、2つの経験を振り返らせ、共感させることで、自分の生活にかかわる様々なことから目を背けず、真摯な気持ちで取り組んでいくことが、自分の心を充実させ望ましい生活習慣の実現につながることに気付かせたい。

### (2) 自作資料活用のポイント

#### ア 活用する時期

学年を問わない資料であるが、受験勉強や行事にむけて取り組む時期や、各学期の始め等、生活のリズムを崩しやすい時期に扱いたい。

#### イ 中心場面の取扱いの工夫

本資料では、受験生である「僕」が、受験勉強を理由に、ロードレースや朝の散歩から逃げることでだらだらした生活に陥る姿が前半描かれている。また、後半は、それらから逃げずに前向きに取り組むことで充実した生活ができていく「僕」の姿が描かれている。この2つの姿に、しっかり自分の経験から共感させることで、よりよい生活習慣をつくる上で何が大切か判断できる力を育てたい。

### (3) 指導過程の工夫

#### ア 導入の工夫

導入では、資料に出てくる「朝の犬の散歩」について自分がどう受け止めるかを考えさせておくことで、資料の内容にスムーズにつなげたい。その後、「そうだよね。受験生にはこれが大切だね」と言いながら、資料名「時間」を板書したい。

#### イ 展開の工夫

最初の2つの基本発問の後に、これと似た経験をしたことはないか生徒に尋ねて挙手させてみることで、みんな同じような失敗をしていることに気付かせたい。そして、中心発問を通して、同様にどんな時に充実した時間を過ごせたか、それぞれの体験を出し合わせるのもよい。その場合、ワークシートに書かせて考えをまとめさせたり、ペアトーク等を活用したりするとよい。

#### ウ 「心のノート」の活用

「心のノート」のP.21を使い、今の自分の生活を振り返りながら思いを書かせることで、ねらいにせまれるようにしたい。

#### エ 関連項目

日常生活の中でさまざまな障害や困難に直面していく中でも、目標をもち希望や勇気をもって生きていくことが、達成感や満足感につながる。内容項目1－(2)「強い意志」でも、活用のできる資料である。

#### 執筆者より

普段の生活の中で、自分の生活習慣を振り返ってみることは意外と少ない。本資料が、いろいろなことから逃げがちな生徒が、「よし、自分もやってみるか。」と思う一つのきっかけになってほしい。

(郷原中学校 榎木 暢也)